

市報

やまぐち

No. 777

昭和54年

12月1日



駅伝シーズン開幕 市内中学校駅伝 二島中Aが二連勝

第31回山口市中学校駅伝大会が、駅伝シーズンのトップを切って11月18日正午市民会館前をスタート、宮野を経て仁保を下り、大内中学校までの6区間、23.8キロのコースで行われました。参加チームは20、寒風にめげず健闘する選手は沿道の市民の盛んな声援を

浴びて大熱戦を展開、二島中Aチームがこれまでの記録を38秒更新して、1時間21分57秒の大会新記録で二連勝しました。成績は次のとおり。

1位二島中A、2位山大付属中A、3位大内中A、4位大殿中A
5位仁保中、6位大内中B

表彰市

昭和54年度

市政の円滑な運営や住みよいまちづくり、文化の発展などに功労のあった人や団体を「表彰規則」によって顕彰する昭和五十四年度市表彰の表彰式が、十一月二十二日市民会館小ホールで行われ、堀市長から表彰状と記念品が贈られました。

今年度の受彰者は、四十八人・九団体で、今年度から市議会議員功労が入ったほか、防火水槽に転落した幼児を救助した二人の中学生や、長年、継続寄付を続けておられる篤行者、匿名の三人も含まれています。

受彰者は次のとおり。(敬称略)

■自治功労者 十三人

▽池田悟(69・朝倉町)▽小田村久(61・宮野)▽山根三代人(65・仁保)以上、長年、市議会議員として市政の発展につくした。

▽(故)深野貞雄(佐山)▽山本敏幸(58・仁保)以上、長年、市農業委員として市政の発展につくした。

▽津守忠夫(73・堂の前町)▽

野原敏彦(58・湯田温泉三)▽橋本菊一(75・三和町)▽原田新一(85・陶)以上、多年、地域団体役員として地域と市政の発展につくした。

■芸術文化功労者 一団体

▽陶腰輪踊保存会(陶)四百年前から陶八雲神社に伝わる無形

▽武村雅純(52・楠木町)▽竹本正一(74・大内)▽平野良雄(65・大手町)▽山崎恒松(78・中央五)以上、十年間にわたり市政協力委員として市政の発展につくした。

民俗文化財陶腰輪踊を伝承し、保存と後継者の育成に努め、市民文化の向上につくした。

■社会事業功労者 十三人

▽池部宗介(65・湯田温泉三)▽梅地義雄(65・泉都町)▽岡あさ子(66・東山)▽佐々木シツ(54・宮野)▽高木美貞(59・大内)▽原嘉子(62・小鯖)▽深野好雄(69・嘉川)▽藤田幸一(76・嘉川)▽藤原ミドリ(58・宮野)▽和田静江(64・嘉川)以上、多年、民生(児童)委員として、振興発展に

堀市長から表彰される佐山防犯対策協議会の田中慶一会長

四十八人、九団体を表彰 匿名三人の篤行者も...

つくし、民生の安定に寄与した。

▽竹中徳尚(54・陶)▽藤岡仁三郎(82・仁保)以上、多年、生活環境整備の推進につくし、社会福祉の向上に寄与した。

▽真城文子(62・嘉川)昭和二十三年から嘉川保育園保母・園長、民生(児童)委員として児童の健全育成につくした。

■保健衛生事業功労者 五人

▽石川篤子(73・中央三)▽飯田公男(59・湯田温泉一)▽新谷登(65・小郡町)▽野口昭(52・大蔵)▽小郡町)▽野口昭(52・大蔵)以上、多年、学校医として児童

■寄付功労者 九人

▽大隅健一(67・神田町)吉敷出張所敷地に刀匠二王之碑(八十万円)▽松村介四郎(80・東京都)大蔵小に電子オルガン・テレビカメラ(百万円)▽村田房一(83・佐山)佐山小に教育振興費百万円▽国際ソロプチミスト山口(後河原)市にいちよ(五十万円)▽仁保農業協同組合(仁保)仁保小・中、大内小・中に図書充実費二十万円▽県木材協会山口支部(三和町)市に植樹資金二十万円▽山口青年会議所(中央四)市歴史民俗

■人命救助者 三人

▽荒木義則(15・大蔵)▽片山忍(15・平川)▽中村五郎(58・大蔵)

■優良団体 二団体

▽佐山地区防犯対策協議会 地域ぐるみの防犯活動を通じ、民生の安定を図り、防犯少年隊を結成するなど青少年の健全育成につくした▽山口手話友の会 手話の普及を図り、奉仕活動でろうあ者の交流を図るなど聴力障害者の福祉向上につくした。

県選奨に

山口市から十二人

(敬称略)

△自治▽重枝経義(75・平川・元市議会議員)

△芸術文化▽光永直人(65・平川・山口芸短教授)

△社会事業▽清水久子(73・仁保・民生(児童)委員) 森近健治(70・宮野・元日本赤十字社県支部事務局長) 中田正作(85・道場門前一・県社会福祉協議会副会長)

△教育▽岡本喜作(69・湯田温泉六・元宇部工校長) 師井光(69・古熊一・元山口農校長)

△社会教育▽末永フミコ(70・仁保・市連合婦人会長)

△衛生▽坂本比巨式(74・道場門前一・元県医師会副会長) 楊井八重(59・東山一・看護婦)

△産業▽原田緑(70・名田島・吉山農業共済組合長) 西谷敏正(58・葵一・県電業協会長)

・生徒の体位向上と保健衛生思想の啓蒙普及につくした。

■産業功労者 六人

▽木村洋太郎(44・湯田温泉三)山口七夕ちようちんまつり等の開催を新鮮なアイデアと情熱をもって推進した。

▽来栖幸(71・大内)▽山根正助(79・仁保)以上、多年、市林野委員として、森林資源の涵養を図り、地域の発展につくした。

▽徳田繁市(76・桜島四)▽徳田孝(80・宮野)▽藤村忠夫(74・宮野)以上、多年、宮野財産区議会議員として森林資源の涵養を図り、地域の発展につくした。

■篤行者 五人

▽A子▽C子▽明浄 以上、多年、市社会福祉協議会に匿名で金員の継続寄付。

▽森脇茂(48・下堅小路)十八年間、恵まれない家庭の児童の入学にランドセルを寄付。

▽山本良次(56・金古町)二十六年間、家族とともに、県立育成学校の児童生徒の理髪の奉仕活動をした。

市制五十周年記念行事

山口市は、今年四月十日に市制をして五十周年の誕生日を迎えました。
四月十日に、記念式典が行われたのを皮切りに、各種の記念行事や協賛行事が行われ、お祝いをするとともに、次なる五十年に向かつての出発を誓い合いました。
記念行事のいくつかを紹介しましょう。

新日本フィル演奏会に 千八百人

記念文化行事のトップを切っ
て六月三十日市民会館で行われ
た小沢征爾指揮による新日本フ
ィルハーモニー交響楽団演奏会
は、入場者千八百人、さしも広
いホールも補助席を全部使用
するほどの盛況でした。
久方ぶりの大型交響楽団「世
界の小沢」のタクトによるハー
モニーを十分堪能しました。



山口市制50周年記念 文化講演会

「賞・山口市制50周年記念・山
口市」と刻まれたメダルは、も
らった人はよい記念となること
でしょう。

市制施行時の写真 人気が集

「目でみる山口市五十年のあ
ゆみ」と題した写真展が、記念
式典が行われた市民会館に展示
されたほか、市役所内市民ホー
ルで十月末日まで展示されまし
た。市制五十年の主な出来事な
どを全紙の白黒写真百四枚で紹
介したものです。



市制50周年を記念して作ら
れたメダル、各種の体育行
事の優勝者に贈られました

かれました。
また、九月下旬から十
月にかけてNHK山口放
送局、TYS、KRYも
テレビ公開番組を組みま
した。
特に、NHK山口放送
局では、「土曜指定席」、
「ひるの散歩道」などの
音楽番組や「少年野球
教室」、「テレビ体操」を組み
中には全国放送をされたほか、
「家庭教育を考えるお母さんの
つどい」を市内五か所の幼稚
園、小学校で開くなど七つの行
事が催されました。

みんなで祝った五十周年

講演会・公開番組

多彩な催し

二題、千七百人の市民がきき
りました。

記念メダルに 大よろこび

市体育協会加盟の
各団体も、五十周年
記念大会を開き、お
祝いしました。
今年の大会は、優
勝者ほかに贈られる
記念メダル、各種目
ごとに作られた直径
五センチの銀色でうらに

十月十六日に開か
れた文化講演会池
田講師の講演

ふるさとまつりも 新しい出発

八月五日開幕したふるさとまつり、昨年、祇園祭りに行われ
たふるさとまつりも、七夕ちよ
うちんまつりに合わせての団体
・町内・子供会などが参加して

協賛行事

市内各団体も、これまで十五
の協賛行事を組みました。文化
協会十周年、県地方史学会二十
五周年、人形劇コッペ十周年な
ど、市制五十周年と重なったた
め、展覧会や記念大会などが開

手作り 看板登場

四月、五月を中心に行われた
各地区の運動会、十一月を中心
に行われた各地区公民館まつり
も、今年は何年になく各地区と
も趣向をこらし、五十周年の年
を祝いました。
プログラムに刷り込まれた
「祝五十周年」の文字も鮮や
かで、各会場には、五十周年を
祝う大きな看板が、ひととき目
をひきました。その看板も、手
作りが多かったようで、公民館
関係者の心意気を示したものと
して、好評でした。
特に、嘉川地区などは、古い
写真展を開きました。地区内か
ら集めた「五十歩の歩み」の写
真に、古い郷土の歴史をしのび
ました。
なお、スペイン国・パンプロ
ーナ市と姉妹都市縁組みの協議
も続いています。

市営バス九州三社 初詣の参加者募集

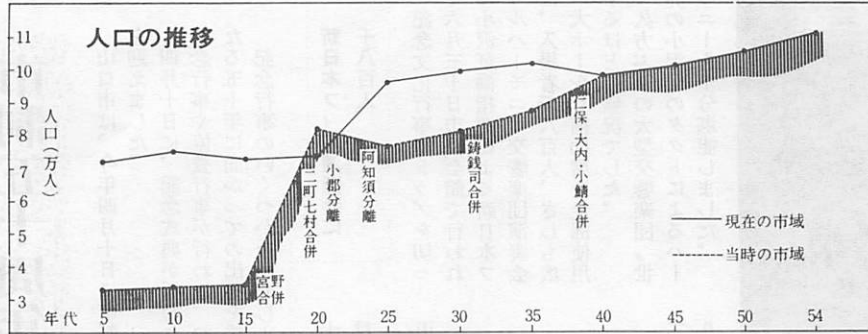
市営バスでは、日本交通公
社と協賛で、次のとおり九州
三社初詣のバスの旅を実施、
その参加者を募集します。
○日時 一月四日午前八時市
民会館前発
○コース 大宰府天満宮―
(星食自由)―宮崎宮―宮
地嶽神社
○費用 大人四千五百円、子
供四千円
○申し込み 十二月二十日ま
でに、市交通局(二一五
五五、日本交通公社山口支
店)四一三三六九へ。

県中央児童相談所 幼児のことば 相談会を開く

県中央児童相談所では、次
のとおり、ことばのおくれの
ある二〜四歳児とその母親を
対象に「幼児のことば相談
会」を開きます。
○日時 十二月一日から二十
八日まで、毎週月・木曜日
午前九時から午後三時まで
○場所 大内御堀、県児童相
談所

相談員 相談所職員

○申し込み 事前に電話二一
七五一へ
なお、同所では、これらの
結果等にもつき、来年一月
から三月まで、ことばの通所
学級を開く予定です。



人口

人口はまちの規模をはかる最も大きな指標で、その消長は施設、財政などにいろいろな波紋を生じます。市制施行時三万三千人弱(現市域七万三千人弱)だった山口市の人口は、十一万人となり、現在にいたっています。この人口の推移や構成にふれ、将来の課題などについて考えてみましょう。

都市のバロメーター

このほど亀山町に開館した県立美術館の設計段階の話です。その規模の決定に当たって、山口市街地の人口五万人弱は大きな要素となつて、全国の県立美術館のうちで中程度の規模となつたということです。いくら県立美術館といつても幾多の合併、分離があります。現在の市域に組みかえて人口の比較をしてみますと、昭和五年、約七万三千人弱の人口は、昭和二十年の終戦まで横ばいが続き、戦後五年間二万一千人増加、その後、微増傾向が続いて、現在十一万五千人、その間約五十年間に、五十二割ふえています。この間の全国人口増が七十九割、山口県が三十九割です。

この勢いは、おとろえたといえ、まだ、その余韻は現在も残っています。この状態の中で、工業の機能の弱い山口市は、都市でありながら昭和四十年の国勢調査で、全国の県庁所在地都市の中で唯一、人口減少都市となりました。

人口の構成

山口市の人口構成は、学

三万七千余人増(五十年間) 人口構成停滞型?

も特別展以外は、そう山口市とその周辺部以外からたびたび来館することもなからうし、山口市民の利用が中心となるのが考慮されたため、この種の話は、たくさんあります。このように、人口は、地域の基礎となるものでその消長は、まちのバロメーターともいえるものです。

人口が都市へ移動

昭和三十年代後半から、人口は農村から都市への移動が続きました。特に工業化社会といわれるように、工業を中心に人口移動が続いたといつても過言ではない状態で、農山村は過疎に悩み、一方大都市は過密の課題をかかえ、大きな社会問題となりました。

山口市は微増

山口市は、市制施行以来、

減が決まる子供を生む年齢層

から伸び率は県よりも高く全国よりも低くなっています。生、自衛隊員などが多いため十八歳から二十二・三歳までの年齢階層が多く、十五歳未満の幼齢人口が少なく、高齢人口が多いのが特色です。これを年齢階層別に横にならべてみますと、〇から十五歳までが少なく、十六から二十五歳までがふくらみ、高年齢にいくに従ってしぼむ、いわゆるツボ型の人口構成をしています。したがって、人口の自然増減が決まる子供を生む年齢層

やまぐち 357



上東町内会報 編集担当者 升井卓弥さん

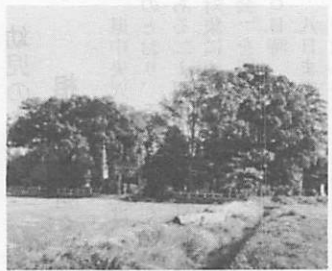


昨年九月、吉敷上東町内会報「かみひがし」が誕生。升井卓弥さん(左)は、この会報発



大樹の茂る 朝田神社の森

大歳の朝田神社は、周防の五の宮として由緒のあるお宮です。以前は朝田の奥にありましたが、明治になり、大歳地区全部のお宮が合併したとき、現在の地へ移りました。この地はもと住吉神社がありましたので、現在の森は古く、住吉神社の森ということになります。神苑には、ケヤキ、クス、



シイ、ヒノキ、スギ、モッコクなどの、老樹大樹が生い茂っていて、さすが五の宮の森というにふさわしい森厳さを保っています。ふるさとづくりの叫ばれているこの頃、昔の人びとが植えてきた鎮守の森の木を大切にしたいものです。

刊以来の編集担当者。吉田武現町内会長とは隣り組で、親戚筋にも当たる。このため「引き受けざるを得なかった」といわれるが、升井さんは、現在、県立図書館の副館長。かつて、図書館広報や親族新聞の編集もされたことのある人。B5版、四八頁、オフセット印刷で、三か月に一回、五百部発刊されるこの町内会報は、写真入りで地区の情報がこまやかに記載されています。久賀町出身のため、地区のことは、吉敷出身の郁子夫人の方が詳しいようですが、会報の編集は、今後も、地区に馴染んでいただけるものを取り上げたいとのこと。

(5)



場(かいつぶり)

話(か)ひて浮(う)きくる場(ば)を待(まち)つ心(こころ) 一(ひと)明(あ)り

いよいよ本格的な冬に入ります。12月という歳末であわただしい月ですが、早くから計画をたて、仕事の段取りをしておき、1年の有終の美を飾りましょう。

—12月のこよみ—

■年末年始の防犯運動 1日~31日。一年の決算期を迎え、なんとなく気ぜわしく、落ちつかないものです。外出時・就寝時の戸じまりは、特に気をつけましょう。

■人権週間 4日~10日。人権の尊重は、今日の人間生活にとって欠くことのできない基礎的な条件です。この週間を通じて、お互いに自他の人権を尊重し合い、民主的な社会慣行を確立するように努めましょう。

■年賀郵便特別取扱 15日から。郵便局では、年賀状は20日頃までにまとめて出してもらいたい、呼びかけています。

■冬至 22日。昼が最も短い日です。この日から昼は少しずつ長くなりますが、寒さはいよいよ厳しくなります。

■大晦日(おおみそか) 31日。一年の最終日です。この夜「煩惱解脱、罪業消滅」を祈って、108回の除夜の鐘がつき鳴らされます。

- 8日大雪 ● 10日世界人権デー ● 25日クリスマス ● 28日公務納め

人口増 当面要因少ない 人口構成は、幼齢人口が少なく、二十代などが多くといったも、大学生、自衛隊など移動型の市民が多いツボ型であることから、人口構成でみる限り、将来、人口がふえる型ではない。また、過去十年間の転出、転

入の原因をみると、学生の定員増、新しい企業立地などに伴うことが大きな要因であった事実を考へれば、急激な人口増の要素は今の山口市には少ないといえます。 市民意識調査 やや増の意向 昭和三十五年、昭和四十六年

人口増の施策 将来とも必要 山口市の適正人口がいくらかという問いに、明確な回答はないでしょう。しかし、全国の県庁所在地の中で、人口が一番少なく、二万余の住宅地帯を持

ち、市民の意向も人口増の意向があるとすれば、将来への提言として当然、人口増を企図することがでてきます。 人口が増加することで文化センター、がんセンター、自然公園などといった高次の都市機能や生活便益施設をつくる背景もできてくることにもなります。 市制五十周年記念論文優秀作「これからの山口市」で、小柳三次さん(朝倉町)は「人口は市勢振興の原動力であり、活力あるふるさとづくりの礎でもある。人口のある程度の集積がないと、地域社会の円滑な運営は望めない。活気にみちた生産年齢層が定着できる雇用基盤の整備こそが、市勢振興の今日的課題ではなかるるか」と提言しています。

人口の集積が必要 魅力ある就業の場づくり

が少ないため、出生率は低く、高齢人口が多いため、死亡率は高い傾向を示しています。ここ二・三年の動向は、毎年約千六百人の出生に対し、死亡が七百五十人位で人口は微増、昭和四十八年から転入、転出がプラスに転じた社会動態は、年間八百人から二百人の増加が続いています。

親子の 別離の悲しさ 最近きいたAさん(60)の話「子供が五人いたが、全員就職、結婚で都会にでた。子供もこのことを希望した訳でもないのだが働く場のため、親子が離ればなれて暮らすことになった」と。 こんな親子の別離の悲しさをうったえる人は少なくない。

にできた山口市の基本構想は、山口市の持つ産業構造が三次産業に片寄っているため、一次・二次産業を振興し、人口増を図りながら、第三次産業の底上げを企図しています。 三年前、市が実施した市民意識調査による人口の動向は「増加した方がよい」とする市民が約三分の一を占める反面「現状程度がよい」が約半数「減少し

た方がよい」はほとんどいないとの結果を示しています。 人口増の施策 将来とも必要 山口市の適正人口がいくらかという問いに、明確な回答はないでしょう。しかし、全国の県庁所在地の中で、人口が一番少なく、二万余の住宅地帯を持

やまぐち 357



市役所西側に本格的市営駐車場として、昭和五十一年三

施設 近代的な市営駐車場 市中央駐車場

月二十六日オープンした山口市中央駐車場は、三百五十台が収容でき、放送設備や監視モニターテレビなどの近代的な設備を備えています。

利用は、五十一年度が七万五千台、五十三年度が十一万六千台と初年度に比べ五十割余り利用がのびています。 営業時間は、午前七時から午後九時まで、料金は一時間百円、それ以降三十分ごとに五十円。前記の時間以外は一時間五十円で、その間、車を出すことはできません。

白線のはみ出し駐車がある、ゴミなどを所定の場所おかない、利用上のマナーを守ってほしい。

話題

女子選手

がんばる

十一月十八日に行われた中学校市駅伝の五区二・四キロに大会史上初めて女子選手が走り話題になりました。 この中学生は、宮野中学校の二年生の竹田朋子さん。同校のバレーボール部員です。春の市中学校陸上競技大会の八百円で大会新の二分二



十九秒五で優勝した健脚をかわれたの出場でした。 出場が決まって、一週間前から自宅から学校までの二キロと学校での三キロのトレーニングでこの大会に出場。 男子にまじって五区を完走、沿道の声援を浴びました。成績は八分五十四秒、二十人中十七位の健闘でした。

不燃物の収集日

出張所地区

○12月 平川11日、大内13日、小鯖17日、吉敷18日、大歳21日、仁保25日、宮野26日

国民健康保険・国民年金 納めた保険料の 証明書を発行

昭和54年1月から12月までに納めた国民健康保険と国民年金の保険料の「納付額証明書」を54年1月に配付する納付書(国民健康保険4期分・国民年金保険料4期分)に添付してお届けします。証明書は、所得税、県市民税の申告に必要です。なお、前納した人、途中で資格をなした人、未納保険料のある人、証明が完了しなかった人、納付した保険料の金額が異なる人は、保険年金課が最寄りの出張所へおたずねください。

最低賃金の改定

最低賃金法にもとづき、山口県最低賃金と産業別最低賃金が改正されました。

労働者の最低賃金が家族手当などを含めず、1日当たり2,503円に、賃金の大部分が時間によって決められている人は1時間313円です。

また、産業別最低賃金、その他詳細は、山口労働基準局(☎2-1144)へお問い合わせください。

動力運搬車(トッパーク)の交通事故多発

最近、トッパークの死亡・重傷事故が各地で相次いでおきています。特に夜間が危険な時間帯です。また、道路は必ず歩いて運転し、事故防止に努めましょう。

市役所内市民ホール展示

文化財94件を写真で紹介

市役所内市民ホールでは、市内にある94件の文化財に指定されている94件の白黒写真(全紙)で紹介しています。

展示品は全紙写真100枚の外、文化財の位置図、金色の瓦や銅銭司遺跡から発掘されたものです。期間は来年3月31日までです。

市民のみならず、ぜひ一度ごらんください。

名田島

転作大豆の収穫 目標収量をほぼ達成

名田島地区の昭和西管農改善組合(組合長竹内勲)では、今年六月、転作水田約二・四ヘクタールに採種圃大豆を作付。このほど、刈り取り、脱粒作業を終え、現在、乾燥・選別・出荷の作業に入っています。今年度の収穫量は、十二月中旬ごろでないとい、正確な数量はできませんが、脱粒作業を終えた時点では、十ア当り目標であった三百鈴は、ほぼ達成の見込み。この大豆栽培を地区の人にならねてみました。

大豆栽培の現況

大豆は「畑の肉」といわれ、水田利用再編対策でも特定作物として扱われ、転作奨励補助金も十ア当り平均五万五千円が付され、計画転作を行った場合は十ア当り平均一万五千元が加算されます。そのうえ「大豆交付金暫定措置法」により最低価格が保障され、昭和五十三年度は、六十鈴が一萬五千三百三十四円でした。

しかし、この転作大豆の収穫には、実働延時間が十ア当り六十九時間を要すといわれ、収量を伸ばさない以上、稲の代替えとしては、採算が合わないのが実情です。ちなみに、過去五年間の山口

県大豆平均十ア収量は、百二十五鈴で、昭和五十三年度、全国第三位となったときの平均収量でも百四十九鈴に過ぎません。

品種の選定・採種圃大豆

こうした過去の実収平均から三百鈴を目標に、かつ、稲の



はじめての脱粒作業。はじき出大豆に農家の表情も明るい。

採種圃大豆の栽培に取り組んだ十四戸の農家の正確な収量はまだはつきりしないが、目標の三百鈴は、ほぼ達成の見込み。その感想も、思ったほど手間もかからなかった、今年のはじめの経験、これからは、もっと工夫してみたとい、来年に向けての抱負は明るい。

価格、天候等、米に代わる作物としての課題は、今後の対応にかかっているようです。

今後の展望・課題

収益に負けない大豆栽培をめざし、昭和西管農改善組合では、県・市農協・農業改良普及所などの指導を仰ぎ、品種は「アキヨシ」よりも成熟期が二週間早く、倒伏しにくく収量があがる「東山九五号」を選定。また、価格面では、加算金のつく採種圃大豆を、播種機の実演など、今後の機械化システムを検討しながら栽培したものです。



同和問題を考える

あなたがつくる わたしがつくる 部落差別のない社会 差別をなくし みんなで 明るい町づくり

“同和対策推進強調旬間”

を終わって

と同時に、同和問題解決への期待がもてるものでした。昭和四十年八月十一日、同和対策審議会の答申を受け、四か年の歳月を経て、昭和四十四年七月十日に成立した同和対策特別措置法は十か年の時限立法であり、昭和五十四年三月三十一日で効力を失うことになっていました。ところが、昨年十一月、衆参両院において、三か年延長の決議をみたことは周知のとおりです。

このことを受けて、行政では、昨年まで七月十日に実施していた同和対策推進大会を、十一月十五日に実施することにしました。さて、この十か年を振り返って見ますと、同和対策事業の方は計画どおり運ばれ、環境整備がされてきたものの、部落差別の根絶とまではいっていないのが現実です。

これからは、教育の力に期待するという声が多く聞かれます。

山口県では、人間尊重を基本理念とし、「あなたがたいふるさとづくり」をめざして、健康で豊かな住みよい地域社会の実現を図ることにしています。

みんなの目標 みんなのねがい 部落差別のない社会

(7)



△ 新鮮な野菜を安売り

公民館まつりを盛り上げるために、自作の野菜をもちよっての朝市。安価と新鮮さで大変好評でした。(秋の宮野展)



△ まつりの最後は歌って踊って

2日間にわたって開かれた公民館まつり。ファイナーレに参加者全員で歌って踊って、まつりの最後にふさわしい盛り上がりとなりました。(中央地区公民館まつり)



△ 自慢ののどと腕前をひろう

芸能大会に一人一役皆んなで参加と、詩吟や歌、舞踊など日頃自慢ののどや腕前をひろうしました。(嘉川文化祭)



カメラ

新しい型の秋祭りとして、すっかり各地区に定着した公民館まつり、十一月三日と十一日に開かれた六地区の公民館まつりを回って見ました。
この祭りは、みんなが一役参加して、みんな楽しんで、地区の連帯をと、地区みんなで盛りあげています。芸能大会やグループ活動の成果発表、各種の展示やバザーなど参加して楽しめるまつりが行われていました。

みんなが主役
公民館まつり



▷ こんなに上手に

公民館を利用しての学習グループによる生花や書道、手芸など所狭しと展示、日頃の練習成果を発表しました。(吉敷公民館まつり)



▷ 米を見直そう

農協とタイアップして米を見直そうと、各公民館まつりには米のコーナーが登場、米を利用した米みそなどの製品の展示や即売、パン菓子の実演即売などもありました。(佐山文化祭)



△ 大神楽舞が登場

秋穂二島南部落に古くから伝承されている民俗芸能大神楽の舞が登場。笛、太鼓の音にのっての熱演に観衆の拍手を浴びていました。(二島公民館まつり)

海上自衛隊音楽隊の演奏

市民音楽会、6日に開く

山口商工会議所では、道場門前振興会と共催で、海上自衛隊音楽隊を招き、次のとおり「市民音楽祭」を開きます。

- 日時 12月6日午後4時30分から
場所 市民会館大ホール
演奏曲 最近のヒット曲の数々
入場料 無料

文化人と語る

教養セミナー「学びの出発」

- 日時 12月12日午後1時から3時間
場所 山口市市民会館小ホール
講師 多田道太郎(京大教授)武石和風(経済評論家)
主催 山口新聞社、三井物産。無料。

カナダ・ブラジル

移住視察報告会

今年8月、国際協力事業団職員が視察した移住山口県人の近況報告と映画「われら大地に生きる」の上映。

12月7日午後6時から9時まで、市中央公民館視聴覚室で。

県立山口図書館

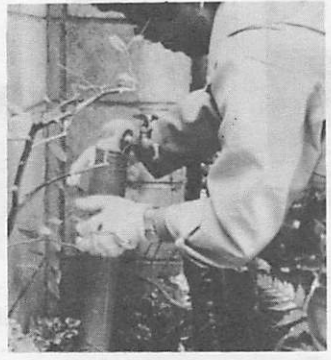
月間資料展「申」

来年は申年。むかしから、物語、諺など広く親しまれている猿に関する文献約50冊を12月1日から27日まで同館2階ロビーに展示。



ねずみを駆除しましょう。

ねずみは食品や家具をくい荒らし、病原菌を媒介するだけでなく、中には人に危害を加えることさえある害獣で、その繁殖力は、一か月に倍になるほどです。ねずみを駆除するには、整理整頓が第一食物を与えないこと、次いで、薬剤や捕獲器で駆除することで、地区や町内で共同駆除をすれば、いっそう効果があがります。



水道管は寒がりです。早めに保温材をまいてください。

これから、寒さが増してきますと、外気に露出している水道管が凍って水がでなくなったり、水道管が破れたりします。特に、気温がマイナス四度以下になると、要注意です。寒がり屋の水道管に、保温材

(布・コモなど)の着物を着せて冬仕度をし

今年水道の新設・増設工事の申し込みは、十二月十五日まで締め切りです。早目に市指定水道工事店へ申し込んでください。

水道管は寒がり屋 一枚着物をさせて

ましよう。

また、凍結した水道管に熱湯や火をあてると、破裂しますので、気をつけてください。

水道の新設・増設工事申し込み十五日まで

年末年始

心にしっかりガギを

年末・年始は、人の心も浮き足立ち、ボーナスのシーズンでもあり、何かと金が動くときです。こんな時期ですから、ひたくりや空き巣が横行するときは、まず、心にしっかりとカギをかけて自己防衛が必要です。

警察では、十二月十日から一月十日まで、年末年始特別警戒取締期間として、特別取締りを行っています。空き巣やひたくりにあわないで、みんなそろって明るい正月としましょう。

れぐれも注意しましょう。年末は気ぜわしく「近所の店だし、ほんのちよっとの買物だから」と家の戸

休日・夜間急病診療所など勤務パート看護婦、事務員募集

市では、計画中の休日夜間急病診療所と伝染病隔離病舎に勤務する臨時の看護婦、休日・夜間急病診療所に勤務する事務員を募集中です。

年齢は50歳まで、看護婦は正看、準看をといませんが、事務員は、診療報酬請求事務のできる人に限ります。

勤務時間や給与などの詳細や申し込みは、市役所衛生課②-4111内線276へ。

山口総合高等職業訓練生募集

来春、中学校、高校などを卒業する人が対象。科目は、機械、溶接、板金、自動車整備、木工。入学願書は来年1月16日までに、神田町2-1同校②-1948へ。

県歯科衛生士学院学生募集

歯科衛生士国家試験受験資格が得られる指定校。修業年限2年。応募資格は、高校卒業の18歳から25歳未満の女子。受験申し込みは、所定の願書で、来年1月12日までに、吉数字芝添3238同学院③-1820へ。

試験日は1月19日・20日、適性検査、面接、筆記。

6日会(油絵の会)会員募集

油絵をかいてみたい人ならどなたでも。毎週火曜日午後7時から中央公民館で例会。入会金1,000円、会費月400円。指導山大秋山泉、川口政宏先生。希望者は、古熊1丁目松岡さん④4-6373へ。

Table with 10 columns: 日, 外科系, 内科系, 外科系, 内科系. Rows list hospitals and phone numbers for various dates in December.

休日の前には自分や家族の体調をよくチェックしましょう 歯科は県口腔センター吉数下東(③3-1820)へ、9時~15時。